4/6

特許協力条約に基づく国際出願顧書 原本(出劇用) - 印刷日時 2003年03月25日 (25.03.2003) 火曜日 15時55分35秒

PCT2003-04

VIII-4-1	発明者である旨の申立て(米国 を指定国とする場合) 発明者である旨の申立て(米国 を指定国とする場合)(規則4 .17(iv)及び51の2.1(a)(iv))	私は、特許請求の範囲に記載され、かつ特許が求められている対象に関して、自らが最初、最先かつ唯一の発明者である(発明者が1名しか記載されていない場合)かれている場合)と信じてあることを、ここに申し立てる。本事立ては、本書がその一部をなす国際出願を対象としたものである(出願時に申立てを提出する場合)。私は、特許請求の範囲を含め、上記国際出願を検討し、かつ内容を理解していることを、ここに表明をしている。私は、PCT規則4.10の規定に従い、上記出願の願書においう見出しの下に、出願番号、出願年を記載する。私は、PCT規則4.10の規定に従い、上記出願の願書においう見出しの下に、出願番号、出願年を記載するという見出しの下に、出願書号、出願年を記載するという見出しの下に、出願日、出願年を記載するという見出しのとも主張する本出願の出願とで、米国以外の少なくとも一国を指定しているPCT国際出願を含め、優先権を主張する本出願の出願された特許又は発明証の出願をすべて特定している。	
VIII-4-I -1	先の出願:	100100000000000000000000000000000000000	_
		私は、連邦規則法典第37編規則1.56 (37C.F.R.§1.56) に定義された特許性に関し重要であると知った情報について開示義務があることを、ここに承認する。さらに、一部継続出願である場合、先の出願の日本のららの解析を重要な情報について開示義務があることを承認する。 私は、表明された私自身の知識に基づく陳述が真実である。 私は、かつ情報と信念に関する際述が真実である。 おり、かつ情報と信念に関する際述が真実である。 おり、かつ情報と信念に関する際述が真実である。 とを行った場合は、米国法典第18編第1001条に基づき、りような故意による虚偽の陳述は、本出領の陳述は、本出のである。またそのような故意による虚偽の陳述は、本出のである。またそのような故意による虚偽の陳述は、本出のである。またそのような故意による虚偽の陳述は、本出版のである。	
VIII-4-1 -1-1		亥山 利治	-4 ha
VIII-4-1 -1-2	住所: (都市名、米国の州名(該当す	上伊那郡箕輪町,日本国	Rl
VIII-4-1	る場合)又は国名) 郵便のあて名:	→ 等++ 第4 016_20	
-1-3 VIII-4-1	国籍:	大字中箕輪14016-30 JP	
-1-4 VIII-4-1 -1-5	発明者の署名: (国際出願の顧書に発明者の署名がない場合や、規則26の3に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合。署名は代理人ではなく、発明者のものでなければならない。)	高山新流	

BEST AVAILABLE COPY

VIII-4-1 -1-6 日付: (国際出願の願書に発明者の署 名がない場合や、規則26の3に 基づいて国際出願の出願後に申 立ての補充や追加がなされた場 合。)

2003. 3. 25